



〔様式1〕

輸入品が毒物、劇物のいずれかに該当する区分を記入する(2つ以上の区分がある場合は併記すること。)

毒物  
劇物

輸入 確認申請書

品名	数量	業登録等の有無及びその種類
<p>Invoice に記載されている名称と数量(単位:個、kg、錠等)を記入し、書ききれない場合は、この欄に「別紙のとおり」と記入し、別紙を添付する(Invoice を別紙としないこと)。</p>		<p>毒劇物輸入業登録を受けた者は、毒物劇輸入業と記入する。</p>
輸入の目的	<p>①試験研究・社内見本用、②個人用、③医療従事者個人用、④再輸入品・返送品用、⑤自家消費、⑥その他、⑦自家消費用に○印を付す。</p>	
誓約事項	<p>☑上記輸入の目的のために使用するもので、他に販売、貸与又は授与するものではありません。                  ☑当該輸入に係る誓約内容を確認の上、☑と記載する。貴局の見聴取その他の必要な協力を行います。                  ☑毒劇物の輸入に関して厚生労働省等から提供される情報を輸入する前及び輸入した後に確認するよう努めます。                  輸入品の製造業者名及びその国名を記入する。書ききれない場合は、「別紙のとおり」と記入し、別紙を添付する(Invoice を別紙としないこと)。</p>	
(製造業者名)	(国名)	
輸入年月日	船荷証券、航空	到着港又は蔵置場所
当該申請に 手続を申請 わつて行く 場合	<p>・輸入品が日本に陸揚げされ、蔵置された年月日を記入する。                  ・郵便物の場合は、税関外郵便出張所から送られてきた通知はがきの通知年月日、未到着の場合は到着予定日を記入する。</p>	<p>輸入品が保税蔵置されている場所の名称を記入する。                  (例:○○税関○○外郵便出張所 等)</p>
備考	<p>当該申請に関する手続を申請者に代わって行う者がいる場合は、その者の氏名、住所及び連絡先を記載する。</p>	
確認欄	<p>特記事項</p>	

上記により、毒物 劇物の輸入に係る確認を申請します。

関東信越厚生局から、内容について照会できる担当者の氏名と連絡先を記入する。

関東信越厚生局へ提出する年月日を記入する。

年 月 日

住所 東京都千代田区霞が関○-△  
 連絡先 03-xxxx-xxxx  
 氏名 ○○株式会社  
 代表取締役社長○○××

申請者の住所と品目の送付先が異なる場合、INVOICE 及び AWB 等に記載された送付先の情報を記載する (INVOICE 及び AWB 等の情報が一致しており、宛先が自社の施設であること)。

(送付先の名称) ○○会社○○営業所  
 (送付先の住所) 埼玉県さいたま市×  
 (送付先の連絡先) 048-xxxx-xxx

- ・この書類のみ、2通作成する(1通は、輸入者に輸入確認証として交付する為のもの)。
- ・間違えて記入した場合は=線を引き、その上段に正しく記入する。
- ・修正液での訂正は不可
- ・別紙を添付する場合は、日本工業規格A4とする。

1品目について、1枚作成する。

商 品 説 明 書  
(個人・医療従事者用医薬品以外)

商 品 名	Invoiceに記載されている名称を記入する。
化学名、一般的名称又は本質	一般的名称等を記入する。
用 途	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該品を輸入者が何のために使用するのかを具体的に記載する。</li> <li>・当該品の一般的な効能・効果も記載する。</li> </ul>
規 格	輸入品の剤形等を記載する(例:「10L/缶」)。

- (注) 1. この用紙は承認等を受けていない医薬品等を試験研究・社内見本用、展示用、個人用(医薬品を除く。), 医療従事者個人用(医薬品を除く。)等の目的で輸入する場合に提出すること。  
2. この様式の大きさはA4とすること。

- ・間違って記入した場合は=線を引き、その上段に正しく記入する。
- ・修正液での訂正は不可
- ・カタログ、パンフレット、写真等があれば添付する。
- ・別紙を添付する場合は、日本工業規格A4とする。

[様式6]

## 使用説明書

関東信越厚生局へ提出する年月日を記入する。

令和 年 月 日

厚生労働大臣 殿

法人にあつては名称及び代表者の氏名、本社所在地を記入する。

輸入者名

今般、輸入確認申請書により申請致しました商品は下記の通り、自家消費致します。

### 記

1. 商品名

Invoice に記載されている名称を記入する。

2. 使用場所

輸入する品目を使用(消費)する自社の施設名とその住所を記入する。

3. 使用期間

輸入する品目の使用(消費)開始予定年月日と使用(消費)終了予定年月日を記入する。

4. 使用数量

使用期間内に使用(消費)する輸入品目の使用数量(頻度や割合等の情報を含め)を記入する。

5. 用途

具体的な使用方法を記入する。

6. 使用工程

差し支えない範囲で、全行程中のどの工程で輸入品を使用(消費)するのか説明する。



[様式3]

商 品 説 明 書

商 品 名	
化学名、一般的 名称又は本質	
用 途	
規 格	

- (注) 1. この用紙は毒劇物を試験研究・社内見本用，個人用，医療従事者個人用，自家消費等等の目的で輸入する場合に提出すること。  
2. この様式の大きさはA4とすること。

〔様式6〕

## 使 用 説 明 書

年 月 日

厚生労働大臣 殿

輸入者名

今般、輸入確認申請書により申請致しました商品は下記のとおり、自家消費致します。

### 記

1. 商品名
2. 使用場所
3. 使用期間
4. 使用数量
5. 用 途
6. 使用工程

〔様式8〕

委 任 状

年 月 日

厚生労働大臣 殿

年 月 日付けで申請する輸入確認について、書類の提出等の事務手続きを下記の者に委任いたします。

所在地：  
氏名又は法人名：  
連絡先：

以上

輸入者名